

一集会状況一

	男	女	計
講演会10/22	18	35	53
主日礼拝10/23	31	63	94
教会学校 子供10/23	9	11	20
大人10/23	8	9	17
成人科10/23	1	2	3
洋光台集会10/26	1	8	9
入門講座10/27	4	10	14

一牧師室から一

今年の特別伝道集会は小田垣雅也先生をお招きした。夜の講演はアメリカのピューリタンの影響を受けた日本のクリスチャンの「生真面目さ」の批判から話された。それは、不信仰から信仰に進むことを「良し」とする価値観でありユーモアを除き去った偏った人間理解である。イエスは人間存在のユーモア性を深く知っておられた。信仰は不信仰によって始めて信仰になり得る。不信仰を復権さ

せ、直線的な固定観念から解放され、まなの人間全体をとらえることの重要性を説かれた。荒井献先生の言葉から神とは「相対化の視座」である。そしてそこにユーモアがある。先生は、近代合理主義が正誤を二者択一的に分別してきた弊害を強く意識して、矛盾の受容を訴えられた。

主日の説教も、キリスト教信仰は御利益ではない、そして目的達成や論理的解決でもない。対立や矛盾の現実を「にもかかわらず」受け入れ、又受け入れられていることを知ることである。人間存在のあり方を短絡的に「裁く」ことではなく、「にもかかわらず」という「赦し」の中で安心する。現実的な破れを正直に認識し「赦し」において受容し合うところに共存があると語られた。対立、矛盾を包み込み、なおユーモアをもって生きる場が信仰であろう。

先生の講演を聞いて肩の力が抜け、安心された方が多かっただろう。反面、信仰に励もうと思っていた方は拍子抜けをされたのではないだろうか。

週 報

1994年10月30日 降誕前第8主日

巻15 31号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。
だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉 隆 雄